

(有)アイズ/エプソン販売(株)

鮮やかな色彩表現を可能にする 4色機のスタンダードモデル

画質・スピードともに バランスの取れたプリンター

エプソン販売(株)からは、エコソルベントインクを搭載したサイン&ディスプレイ向けインクジェットプリンター「SC-S40650」を紹介したい。

同商品は、2016年5月に発売された大判インクジェットプリンター。高画質モデル「SC-S80650」とハイスピードモデル「SC-S60650」、そしてスタンダードモデルの「SC-S40650」の3種類がある。中でも高画質モデルの「SC-S80650」は、人気商品となっており、サイン&ディスプレイでも度々紹介してきた。

しかし、今回注目するのはスタンダードモデルの「SC-S40650」。実際にスタンダードモデルを導入した(有)アイズの代表取締役 伊藤 誠氏に話を伺った。

スタンダードモデルでも充分 高画質モデルにも見劣りしない

——アイズではどのようなサインを作っているのですか。

大判出力はもちろん、パネル加工やカーラッピング、諸々の施工も行います。会社設立時は、サインではなく、色校正などをやっていたんです。当時は、まだアナログが中心の時代だったので、グラフィック看板はわずかでしたね。海外製のプリンターは性能も悪く、耐久性も耐久性もなかったんです。

その後、プリンターの性能が良くなり、グラフィックのサインが急激に増えていきました。当社もその流れにのり、サインを始めることにしました。

エプソン初の大型プリンター「PM-9000C」を導入したこともありますよ。

そして、今では、施工もやるようになりました。

——プリンターを導入する時のポイントを教えてください。

その時代の1番良い商品を選んでいきます。今だとエプソンさんのプリンターがすごく良いですよ。インクのコストパフォーマンスも良いし、スタンダードモデルでもスピードも画質も問題ない。用紙のセットも簡単ですし、パネル操作も



アイズの代表取締役 伊藤 誠氏。

わかりやすく直感的にできます。

現在は、2台のプリンターがあるのですがそのうちの1台が「SC-S40650」です。これまで、他メーカーのプリンターも使いましたが、今の1番はエプソンさんのプリンターだと思いますよ。

買い替えの時には、エプソンさんのショールームにお邪魔して、普段使っているメディアで、何枚か印刷してもらったのですが、とてもきれいに印刷できました。

——スタンダードモデルを選んだ理由はなんですか。

ショールームでは、ハイスピードモデルや高画質モデルとも比べてみましたが、スタンダードモデルで充分だったんです。ハイスピードモデルは、後加工を考えるとそこまでスピードは必要ないこと、また、高画質モデルは確かにきれいに印刷できましたが、主用途の看板では細部の画質をそこまで細かく指摘されることがないんです。ただ、唯一指摘されるのは赤の濃度です。そのため、赤の発色には注意しています。このスタンダードモデルは赤もきれいに発色するので、色について指摘されたことはありません。

また、白やシルバーのような特殊な色の仕事はほとんどありませんし、もし頼まれたら外注しようと思っています。こ

ういった特殊な色は扱いが難しいですし、ほとんど仕事もないので、少なくとも弊社では必要ないかなと考えています。

——赤はどのような指摘を受けたんですか。

弊社は、店内の装飾などの仕事も少しやらせていただいているのですが、以前、バレンタインでハートがデザインされたグラフィックを他社のプリンターで印刷した時に、赤の色が薄いと言われたことがありました。「SC-S40650」で印刷し直したら問題なく、赤もきれいに見えたので、よかったです。

——インクの匂いはどうですか。

インクの匂いも気にならないですよ。これまで、色の耐久性が大切だと考えていたので、匂いのきつい溶剤を使っていたんです。エコソルとか気にしたこともなかったのですが、エプソンさんのインクを使ってみて、耐久性があるにもかかわらず匂いはしない、その良さに気がつきました。

——トラブルなどはありましたか。

2017年の末に導入したばかりというのものもありますが、トラブルは今のところありませんよ。「PM-9000C」を使っていたときもトラブルはなかったので、今回もトラブルはないんじゃないかなと期待しています。

高い性能でありながら 優れたコストパフォーマンスを実現する

スタンダードモデルの「SC-S40650」は、高画質モデルやハイスピードモデルと比べると、本体価格が安く設定されている。しかし、インクは他と同じく、「UltraChrome GS3インク」を使用している。同インクは、「広色域」「鮮やかな色彩表現」「光沢感」を兼ね備え、高画質を実現する。また、速乾性に優れているため、実務で重要となる印刷後の巻き取り時間までの生産性を高め、高速印刷の性能を発揮する。

ヘッドは「PrecisionCore TFP プリントヘッド」を使用。真円のノズルからインクを正確な位置に必要な量だけ打ち出すことで、印刷品質を向上。さらに、「粒

状感の低減」「色域の最大化」「バンディングの低減」の3つの効果を発揮する技術を搭載することで、より安定した高画質を実現している。

高いプリント品質でありながら 安定稼働を実現する

プリントヘッドとプリントヘッドガードの表面から毛羽やホコリを除去し、メンテナンス作業回数を大幅に削減する「布ワイパー」や、ファンで空気流を生成してフィルターで空気中の微粒子をキャッチ、プリンター内の空気を清浄に保つことで繊細なセンサーや駆動機構へのインクミスト付着を防止する「空気循環システム」、チューブ内のインクの沈殿を減少させる「インクフローレギュレーター」などにより、高いプリント品質を保つ。

そして、コンパクトかつフラットな排紙の経路を確保し、従来商品「SC-S30650」と比べてメディア送り用ローラーの大径化、メディアを押えるローラー数の増加により、メディアの斜め給紙やしわ、巻き取りズレを減らし、より正確な紙送りを実現している。

「SC-S40650」が4色機でありながら、充分使用できるという伊藤氏の言葉にも納得できる。

高画質サイン体感イベント 全国で開催！

エプソン販売は、2018年7月17日(火)・18日(水)に群馬県前橋市、7月19日(木)・20日(金)に新潟県新潟市、7月23日(月)・24日(火)に栃木県宇都宮市、8月2日(木)・3日(金)に茨城県水戸市にて、エプソンの高画質サインを体感するイベントを開催。エプソンの大判インクジェットプリンター「SureColor」の概要や導入メリットを実機デモンストレーションを交えながら紹介する。また、エプソンが提案するカラーマネージメントソリューションについても紹介される。参加は無料。イベントは、上記の4か所以外でも、全国で順次開催される。詳しくは随時公開のエプソンホームページをチェック。



日常的に行う操作を本体前面右側に集約したフロントオペレーションを実現。コントロールパネルには、カラーLCDを採用しインク残量が一目で分かるなど、業務効率アップに貢献する。



大容量700mlインクカートリッジが採用されており、連続稼働も可能にする。大量印刷や長尺印刷、夜間運転などでもダウンタイムを最小限にする。

問い合わせ
エプソン販売(株)
購入ガイドインフォメーション
Tel.050-3155-8100
(受付時間:9時~17時半。月~金曜日。祝日、弊社指定休日を除く)
高画質サイン体感イベント
エプソン販売(株) 担当:産業機器MD部 阿久澤
Tel.03-5919-5253
(受付時間:10時~12時。13時~17時。月~金曜日。祝日、弊社指定休日を除く)

問い合わせ
(有)アイズ
愛知県名古屋市中区中切町1-69
Tel.052-917-5711 Fax.052-917-5700
http://www.iznet.co.jp



アイズが導入した、スタンダードモデル「SC-S40650」。

